



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 8 月 9 日(月)

「木の香る道」能代版社会実験開始！ 編

6月の懇談会で能代河川国道事務所の川口さんから情報提供いただいた国交省の社会実験。応募案件の登録に続き、7月初旬の締め切りまで三井共同建設コンサルタント(株)の高橋さん、(株)GK京都のト部さんのご協力もいただきながら民官学で知恵を出し合い、『「木都能代」にふさわしい歩行空間の創出』と題した公募申請書提出しました。

この実証実験では、能代の主要産業である「木材」を積極的に活用した良好な景観や癒しのある道づくりを全国に先駆けて行い、道路利用者や地域住民の方々の評価、強度試験、冬期積雪時の歩道除雪での状況等を確認しながら、能代にふさわしい文化的価値の高い道路デザインを確立したいと考えていました。また、今年6月に成立した「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」(木材利用促進法)も追い風になり、実験結果を広報することで国道のみならず、能代市内の県道・市道にも普及することができるのでは？と大いに期待しておりました。

しかしながら、実験結果の汎用性や能代のような林産業を抱えた地方都市での展開の可能性への言及が足りなかったのか、はたまた時代を先取りしすぎたのか、残念ながら31分の9の壁を破ることができませんでした。

ところが、この申請が契機となって、現状でできることを能代でやってみよう！という計画が進みだしました。関係者の方々との打ち合わせや協議が始まり、実験地の選定、施工材料や方法の検討が行われ、工事日程も下記のように決まりました。どんな道ができるのか、とても楽しみです。

完成後は実験目的に沿って、いろいろな調査を行っていく予定です。来年夏のまち灯りでは多くの方にこの道を歩いていただき、能代らしいまちづくりにつながってほしいと思っています。

10/18～20 既設舗装版撤去・不陸整正*

10/21～22 木製平板ブロック・視覚障害者用誘導ブロック

10/25～26 ウッドチップ舗装

文： 渡辺 千明

* 表面の凹凸をなくして水平に仕上げること



申請書に添付した「木の香る道」のイメージ図。これまでのものに加えて、ト部さんに夜バージョンも作っていただきました。



木高研駐輪場で実験中の木製平板ブロックやウッドチップ舗装をみながら、佐々木・栗本両先生と材料や施工方法などを検討しました。



実験実施箇所でも材料見積りのための計測や冬期の凍結などを考慮した施工方法の検討などを行いました。



この道がどんな風になるのでしょうか。